

記録的な大雨となっていることをいち早くお知らせします
～ 記録的短時間大雨情報のより迅速な発表～

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨となっていることをお知らせする「記録的短時間大雨情報」を、これまでより最大で 30 分早く発表します。

気象庁では、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、雨量計で観測した場合や、雨量計と気象レーダーを組み合わせて解析した場合に、その地域にとって災害の発生につながるような稀にしか観測されない雨量になっていることを伝える情報として、記録的短時間大雨情報を発表しています。

今般、雨量を解析する処理を従来に比べて高頻度かつ短時間で行うことにより、解析により記録的短時間大雨情報を発表する場合、これまでより最大で 30 分早く発表します。これにより、土砂災害や浸水害について、大雨注意報・警報などで段階的に報じられる危険度の高まりに加えて、実際に記録的な大雨が降り、状況がさらに悪化したという実況をいち早く伝えることができるようになります（別紙参照）。

この改善は、平成 28 年 9 月 28 日（水）12 時より実施します。

なお、本件は、平成 27 年 7 月の交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方」を受けた取組みの一環です。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁予報部業務課

気象防災情報調整室

電話 03-3212-8341（内線 3115）